

新潟県小学校教育研究会 郡市研究レポート 阿賀野市

1 研究テーマ

新学習指導要領の趣旨に沿った家庭科授業のあり方を探る

2 活動の概要

(1) 4月21日(木) 組織の構成・役割・事業計画の作成 (部員 7名)

(2) 6月9日(木) 研修会 「指導内容の系統性について」

講師 新潟市立金津小学校 教頭 齊藤 裕子 様

新学習指導要領の趣旨を受けた教科書の活用についてのご指導をいただいた

- 1 学習指導要領の改訂について
- 2 家庭科改善の基本方針
- 3 小学校家庭科改善の具体的事項 改訂されている部分を新しい教科書で確認
- 4 今回の学習指導要領改訂で重視されていることと新しい教科書
 - (1) ストーリー性のある指導計画
 - (2) 自分の成長を自覚する「時間軸」の視点
 - (3) 広くかかわる「空間軸」の視点
 - (4) 実践的・体験的な学習活動、問題解決的な学習の重視
 - (5) 見通しを立てたり、振り返ったりする学習活動の重視
 - (6) 思考力・判断力・表現力を高めるための言語活動の充実
 - (7) 自分・家族・家庭生活を大切にす豊かな心の育成
 - (8) 家庭科の学習をより深いものにするための他教科との関連
 - (9) 中学校との接続の重視

新潟県が目指す、2年間の家庭科の指導を通して育てたい児童の姿、児童の変容や成長の様子をまとめた「新潟トキめき物語」について講話をいただいた。

(3) 11月29日(火) 実践発表会 「マニュアルをもとにしたミシン指導の実践」

新潟市教育研究会作成の「ミシンマスターへの道」を使つての指導の実際

- ミシンの現状 子どもが使用するミシンの固定化
- スモールステップで学習を進める
- 理解を深めるためにミシンの構造図など提示する
- 修行の道が明確で、回数を重ねると上達することが分かった。
- ミシンチェックシートを実態にあわせて改良して使用した。

新しい教科書を活用しての指導の実際

- 新しい教科書が従来より詳しく分かりやすくなり、ワークシートが使いやすい。
- 児童が自主的に学習できるように配慮されている。
- 作品を作るめあてに向かってミシン学習をするという目的意識をもたせた。
- できるようになったことの確かめをさせた。

児童の大好きなミシン学習を計画的に師範しながら進めることで、達成感をもたせることができたと報告された。

3 おわりに

新学習指導要領の趣旨をしっかりと研修し、授業に生かすことができたのは成果である。家庭科は重要な教科であるが、どの学校も備品等不十分な様子が見受けられた。活動のしかたを工夫していかなければならない。